

別紙 2. 技術開発業務の概要

■開発した技術

覆工再生工は以下の手順で施工します。このうち、**新たに開発した技術**は④～⑥です。(図1 参照)

- ① 1車線を規制し、ロックボルトを打設してトンネルを補強
- ② 夜間通行止めを実施し、コンクリート片などの落下物から通行車両の安全性を確保するとともに、**防護柵と同等以上の性能を有する移動式防護工を設置(㊿)**
- ③ トンネルの安定性を損なうことなく、既存の**トンネル覆工コンクリート厚の1/3程度を切削(㊿)**し、損傷したコンクリートを除去
- ④ 防水工を設置し、漏水を防止
- ⑤ **生コンクリートを長距離(最大 850m)運搬(圧送)し、切削した部分に必要な品質を有する**コンクリートを現場打設して覆工を再生(㊿)****
- ⑥ 夜間通行止めを実施し、防護工を撤去搬出

この3つの技術について、要求要件を定め、技術開発しました。(各技術の要求要件は別紙3のとおり)

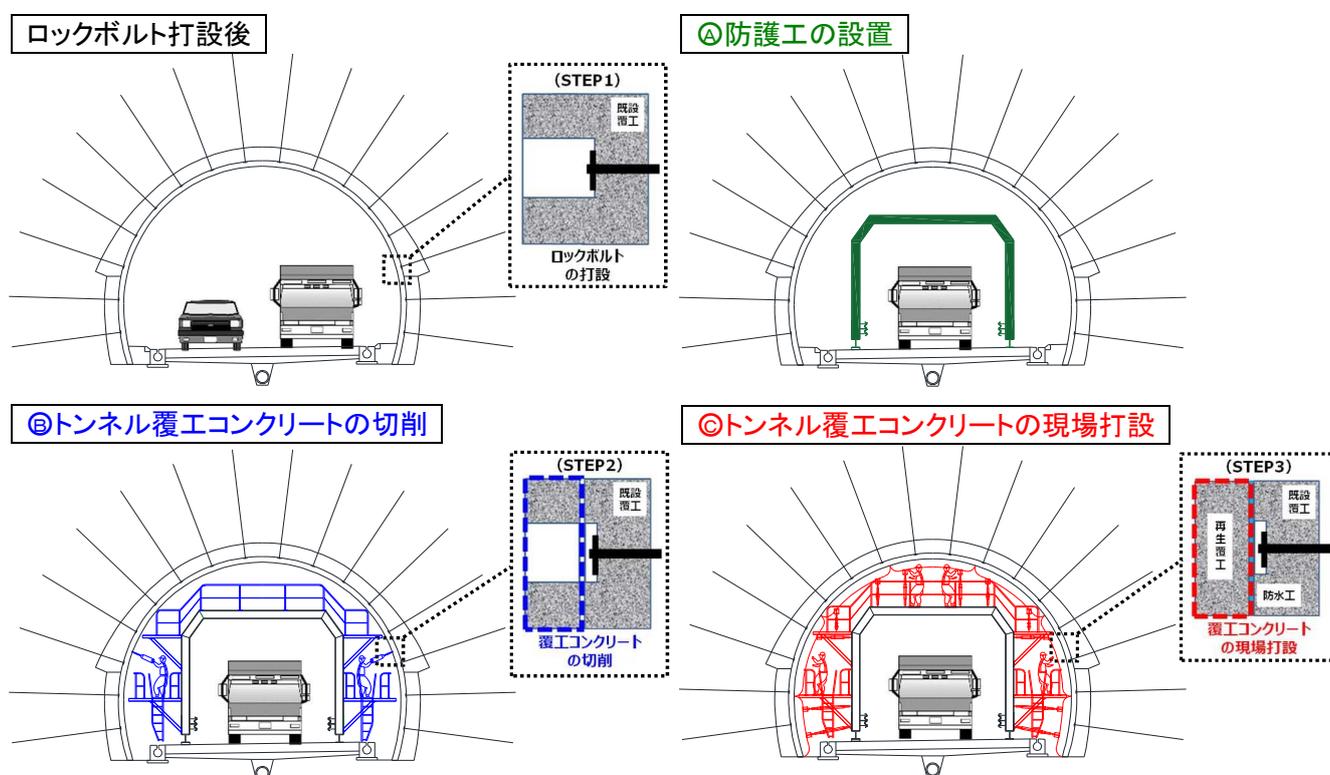


図1 覆工再生の施工イメージ

■開発者

覆工再生工の開発者は下表のとおりです。

株式会社鴻池組
前田建設工業株式会社
西松建設株式会社
鉄建建設株式会社
飛鳥建設株式会社